

# 通所リハの

# 工夫

通所リハビリテーションに求められる効果的なリハビリ提供などを行うための工夫や取り組みを紹介します。

## 第1回 デイサービスとの連携の工夫

### 連携を広げる工夫

## 他法人のデイサービスと交流し パンフレットを作成して併用などをPR

あい介護老人保健施設通所リハビリテーションでは、「ご利用者の多様なニーズに応える」という目的のためには他サービスとの併用や移行といった連携が必要と考え、市内の協議会などで顔見知りだった近隣のデイサービスと合同で、次のような取り組みを行っています。

## 取り組み1 お互いの特徴を知るためのミーティングを開催

### 事業所を相互に訪問して毎月開催

まず、お互いのサービスを知るため、毎月1回、相互に事業所を訪問し、合同ミーティングを行いました(右表)。

第1～3回で通所リハとデイサービスの違いや特徴を確認し、4回目以降はすでに併用しているご利用者について、連携して支援する必要があるか検討しながら、効果的な連携パターンを考えました。また、下記のような事例の場合は併用を提案しました。

#### 《連携事例》

長年、通所リハを利用している進行性疾患の方が、在宅での入浴が困難となったため、リフト浴などにも対応している連携先のデイサービスとの併用を提案。ご家族にも了承を得た上でケアマネジャーに相談し、併用していただいた。

### 合同ミーティングの概要

開催頻度: 毎月1回  
時間: 19:00～20:30(残業扱い)

回	テーマ	内容	場所
第1回	職員交流会	参加者の自己紹介	デイサービス
第2回	職員勉強会	「入浴」「機能訓練」など、重複するサービスについて、それぞれの目的や実施内容について話し合った	通所リハ
第3回	各サービスについて発表	自事業所の特徴について発表し、共有した	デイサービス
第4回	共通ケースの検討会	すでに併用しているご利用者や併用・移行が有効と思われるご利用者について情報交換し、効果的な連携パターンを考えました	通所リハ
第5回	合同カンファレンス		

## 取り組み2 パンフレットを作成して効果的な利用方法を紹介

### 効果的な利用方法をパンフレットに掲載

ミーティングで得られたお互いの強みや効果的な連携パターンについて、ケアマネジャーにも広く知ってもらうために、ミーティングとは別に各事業所の担当者(2名ずつ)が話し合いを重ね、三つ折りパンフレットを作成しました(下図)。

パンフレットのタイトルはケアマネジャーに興味を持ってもらえるよう「いいとこどりベストプラン」としました。

### 外部の集まりで利用方法をPR

作成したパンフレットを社会福祉協議会や居宅介護支援事業所に配布するほか、市内で開催された事例発表会や地域包括支援センター主催のケアマネジャー向け勉強会へ積極的に参加して配布し、連携の効果を伝えながら通所リハとデイサービスの効果的な利用方法などをPRしています。

ケアマネジャーがケアプランを作成しやすいように、効果的な連携パターンを紹介!

通所リハとデイサービスが合同で作成したパンフレット(内面)

### デイケアそれともデイサービス? 生活の困りごとに、例えばこんな使い方

**Q.** 入院してたらすっかり体力が落ちちゃった。

**A. デイケアで集中リハビリ。**  
医師の指示のもと、リハビリの専門職が心身の状態をしっかりと評価しリハメニューを提案。自宅でもできる体力を取り戻しましょう。自傷がついてきたらデイケアは卒業しデイサービスへ移行してもよいですね。

→ デイケア → デイサービス

※ デイケアのスタッフがアフターフォロー訪問

**Q.** 年輪的にできないことが増えてきた。少しの手伝いがあればまだ自立して暮らせるのに。

**A. デイサービスで生活支援。**  
食事などのお手伝いをしながら、心身の機能が落ちないように体操やレクリエーションを通じて訓練します。専門的なリハビリが必要な時は一時的にデイケアに切り替え、またデイサービスに戻ることもできます。

→ デイサービス → デイケア → デイサービス

※ デイサービスでできないリハビリをデイケアで短期集中アプローチ

**Q.** 足腰が弱ってきてひとりで風呂に入るのがこわい。

**A. デイサービスとデイケアを併用。**  
デイサービスで日常的に入浴介助を受けながら、デイケアで足腰の機能強化のリハビリや、安全な浴槽のたたき方などの指導を受けます。週1回のデイケアで訓練したことを週3回のデイサービスで実践するなど、併用で相乗効果を生み出します。

→ デイサービス → デイケア → デイサービス

※ デイサービス

トレーニングマシンや歩行練習などの機能訓練はもちろんのこと、ご本人のライフスタイルや性格なども考慮したプログラムを提案。リハビリ専門職が中心となって、多職種協働で質の高いリハビリテーションを継続的に提供するための「リハビリテーションマネジメント」にも力を入れています。

医師、看護師、リハビリ専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)が在籍。疾患をお持ちの方や術後の方でも安心してリハビリに取り組みます。

介護するご家族への支援として生活課題解決に向けた話し合いを行うリハビリテーション会議や、介護者同士の交流や悩み相談ができる家族懇親会を定期的に開催しています。

あい介護老人保健施設

サービス	リハビリテーション	入浴・身体介護	医療的視点	レクリエーション	家族支援
リハビリテーション	★★★★	★★	★★	★★	★★
入浴・身体介護	★★	★★★★	★★	★★	★★
医療的視点	★★	★★	★★★★	★★	★★
レクリエーション	★★	★★	★★	★★★★	★★
家族支援	★★	★★	★★	★★	★★★★

※ デイサービスでは生活動作や心身機能の維持向上を図る為の機能訓練を実施。指導員からの評価のもと、介護職と協力しながら自立支援を行っています。

身体機能に応じた浴槽を揃えるなど、ご本人の出来る事を尊重しながら必要な支援を行います。入浴をする事で心身の活性化を図るとともに清潔保持や皮膚状態の確認を行う事が出来ます。

生活の中で趣味活動や役割を持った活動は、生きる喜びを感じる大切な事柄です。様々なイベント企画やカルチャー教室を通じ、交流の場に繋げる事で必然と人の輪が広がっていきます。

デイサービスで日中を安心して快適に過ごせるよう、身体的なケアから心を重視した寄り添う介護までご本人様、ご家族様への信頼関係を大切にしています。

それぞれの強みについて具体的に説明!

提供するサービスの強みを星の数(★)で視覚化!

三つ折りタイプなので手に取りやすい!

社会医療法人 河北医療財団多摩事業部

### あい介護老人保健施設 通所リハビリテーション (東京都)

**施設概要**

- ・定員: 50名
- ・1日平均利用者数: 41名
- ・平均介護度: 2.1
- ・営業日: 月～金(祝日営業)
- ・サービス提供時間: 1-2h～7-8h

人員配置

職種	常勤	非常勤(常勤換算)	職種	常勤	非常勤(常勤換算)
医師	1名	—	言語聴覚士	—	—
看護職	1名	—	介護職	5名	5.06名
理学療法士	2名	—	運転手	—	3.68名
作業療法士	4名	—			